

CAN DO

“可能性への挑戦”

第64号

金田会計事務所通信

【 ご報告 】

税理士登録者数は全国で79,280人(令和3年5月末現在)います。その中で国家試験合格者は約5割、税務署OB等試験免除登録者約4割。公認会計士等約1割となっています。私が所属する近畿税理士会東支部は大阪国税局がある中央区にあり、税理士登録者数は東京麹町支部に次ぐ、全国2位(1,852名)の会員がいるマンモス支部です。ですからたまに誰々税理士先生を知っていますかと聞かれたりしますが、有名な先生でないとうわかりません(なんせ東支部には元税務署長でも百人以上いますから)。

私は東支部での国家試験合格税理士の会の会長にこの6月から就任することとなりました。どの団体でも同じかもしれませんが、さらなる会の活性化と会員の拡充などの要望を託されました。また自動的に東支部の副支部長となり、税務支援対策委員長も兼ね、確定申告期の還付申告会場の税理士派遣、記帳相談、各学校の租税教室での講師派遣など税務行政の窓口として税務署とかかわることとなります。まだまだそのような立場に立つのは早いと思い固辞して(逃げて)参りましたが、これからはお世話になってきた税理士業界のためにたくさんの時間を割くことになり、皆様には今まで通りのお付き合いができなくなるかもしれません。折しもサービス充実のため事務所の体制も大きく変えていこうとしている時期と重なりました。

自分の思いや計画を中心に物事がうまく運ぶものではありません。周りの協力や支援、環境の変化や時代の流れなど世の中には変数がたくさんあります。ここまで来れたことをまずはお蔭様と感謝して、これからもさらに精進してまいります。もちろん、新しい立場で得た果実は皆さんに還元してゆくつもりですが。



金田 康良

2021年7月



クラウド会計って？

このところ、よく耳にするようになった、クラウド会計ソフトについて解説します！

クラウド会計ソフト

従来のインストール型(オンプレミス型)の会計ソフトに変わって登場した、ID とパスワードでログインして利用する会計ソフトです。弊事務所でも導入を強くおすすめしています。

何ができるの？

- 銀行口座、他のソフトとのデータ連携
自動取込、請求書発行、経費精算 等
- 経理業務の効率化
簿記知識不要、手作業・紙資料の削減
- 経営の見える化、リアルタイム化
タイムリーな経営判断、資金繰り、税理士との連携



2 大クラウド会計

- 会計 freee
- マネーフォワードクラウド会計



【メリット】

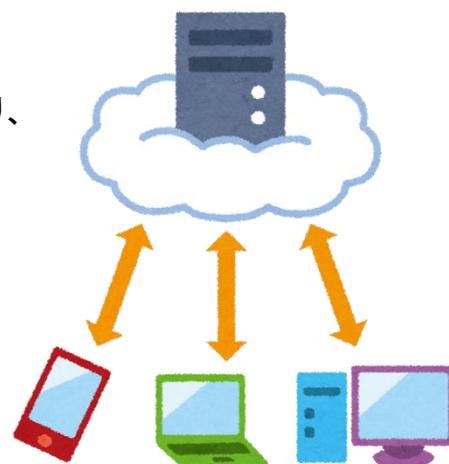
クラウド会計ソフトを導入することによるメリットは数え切れないほどたくさんあります。

- 場所を選ばない
リモートワークにマッチ、税理士への提出も容易
- データで経理
ミス・ムダが減る、転記・2重入力の防止
データの共有、経営分析への活用
- サーバー管理が不要
自社でデータを保管する手間とコストを削減、
画像データを仕訳に添付することが簡単にできる
- 常に最新バージョンを利用できる



【デメリット】

- ネット環境がないと作業ができない
 - 👉 ネット接続が必須なのは会計だけではない時代
緊急時にはスマホとのテザリングでも対応可能
- 料金が月額/年額支払いとなり高コスト
 - 👉 コスト以上の効果(業務効率化)を実現できる
本当の意味でのコストパフォーマンスが高い
- 既存の会計ソフトと使い勝手がちがう
 - 👉 簿記知識がなくても業務遂行できるように設計されており、
今までの概念を転換する必要がある
- インターネットバンキングを契約していることが前提
 - 👉 現金出納帳や銀行通帳のデータ化サービスもある
そういった周辺サービスも利用していく



【Q&A】

Q クラウドのデータが消失しないか心配

A サーバの所在地を分散化しており、バックアップも自動化されています。

Q データのセキュリティーは大丈夫？

A 金融機関と同等のセキュリティーレベルが構築されており、
自社で管理するよりも安全です。

企業の情報漏えい問題の多くは人的ミスによるものだとされています。

Q 利用料金はどれくらい？

A 購入(買切り)ではなく月額や年額での料金体系がほとんどです。

機能にもよりますが、年間数万円から数十万円になります。



【こんな企業にオススメ】

- 気軽に試してみたい
無料試用期間が設定されている
専門知識がなくても始められる
- リモートワークに対応したい
ネット環境があればどこでも作業したい
- バックオフィス業務の負担改善をクラウド会計に合わせていく
業務自体を見直していく
- 会計ソフトデータを経営判断に活かしたい
工夫次第で様々な活用方法がある



【検討・導入のポイント】

クラウド会計ソフトの導入を検討する場合、単に「〇〇の機能が使いたい」ということを目的にすべきではありません。「どこでも作業ができる」「銀行データを入力しなくて良くなる」というのはあくまで導入による「結果」です。

クラウド会計ソフトを活用することで、「会計ソフトを変更する」以上の意義を見出していただきたいのです。それはすなわち、「現状のやり方を変更する」「会社の業務のあり方そのものを見直す」ということです。そういった変革のためのツール、それがクラウド会計ソフトです。

時代の流れがとても早く、AIの発達、労働人口の減少、新世代の社員の入社による文化的齟齬等、「変わっていくこと」が求められていくのがこれからの時代です。

弊事務所では、クラウド会計ソフトの単なる操作説明ではなく、みなさまの会社の業務効率化、フローの見直しからサポートしていきたいと思っています。お気軽にご相談ください。

(文責:尾崎)

あなたの会社はまだまだ変われます。一緒に変えていきましょう。

※当事務所は八月十三日(金)から十六日(月)まで夏期休暇とさせていただきます

気さくで、信頼できる頼もしい顧問税理士として税務・経営・経理の相談、指導等により企業活動へのサポートを行っています。お気軽にご相談下さい。



金田会計事務所 〒541-0052 大阪市中央区安土町3丁目2番14号 イワタニ第二ビル10階
TEL (06)6264-3328 FAX (06)6264-3329
E-Mail : info@kaneda-kaikei.com URL : http://kaikei.asia/